

令和7年度東京都

地域学校協働活動推進フォーラム/コミュニティ・スクール推進フォーラム

「ウェルビーイングを育む地域と学校、子供たちの未来」

～地域、学校、教育委員会の連携・協働～

ウェルビーイングの視点から、学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」を念頭に、学校と地域・社会との連携・協働について、区市町村教育委員会職員、学校運営協議会委員、統括及び地域コーディネーター、小・中学校の教員、PTA役員などの関係者が一堂に会し、対話を通して共に学ぶ場として、今年度は、全校に地域学校協働本部とコミュニティ・スクールを導入して6年目の板橋区を会場に開催します。「地域」と「学校」の連携・協働について理解を深め、活動の充実のヒントを見つけてみませんか？

※以下「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を「CS」とします。

日時：令和7年11月21日（金曜日）午後1時00分から4時30分まで

※終了時刻が前後する場合があります

◆第1部 基調講演

「誰もがウェルビーイングな社会の担い手となる、
学校・地域・行政の連携・協働の進化・深化を」

講師 清原 慶子 氏（杏林大学客員教授、こども家庭庁参与、
中央教育審議会生涯学習分科会長、前三鷹市長）

◆第2部 4つのテーマ別分科会



会場：板橋区立グリーンホール

東京都板橋区栄町36-1

東武東上線「大山」駅 北口から徒歩約5分

都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口から徒歩約5分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課・義務教育課

お問い合わせ 電話 03-5320-6859

Mail ml-sy-gakosien@section.metro.tokyo.jp

11月21日（金） 学び・参加するプログラム

【開 会】 午後1時00分（受付：12時30分から）

【第1部】基調講演 午後1時15分から2時15分まで 定員300名

誰もがウェルビーイングな社会の担い手となる、 学校・地域・行政の連携・協働の進化・深化を

◆基調講演 講師 清原 慶子 氏

（杏林大学客員教授、こども家庭庁参与、
中央教育審議会生涯学習分科会長、前三鷹市長）

【清原 慶子 氏 プロフィール】



東京都生まれ。慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学後、東京工科大学メディア学部長等を経て2003年～19年まで三鷹市長を4期務め、『自治基本条例』の制定、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構・無作為抽出の市民による討議会等の創始など「民学産公官の協働のまちづくり」を推進。全国市長会こども施策担当副会長、総務省情報通信審議会・統計委員会、文部科学省中央教育審議会等の委員を歴任。現在は生涯学習分科会社会教育の在り方に関する特別部会長・初等中等教育分科会委員、総務省行政評価局アドバイザー等。近著に「基礎自治体の民主主義」「リベラルアーツと民主主義」（水声社2024年）等。

【会場】 1階ホール250名 施設内別室中継 504会議室 50名

対象

■各区市町村地域学校協働活動・学校運営協議会関係者

区市町村教育委員会担当者（地域学校協働本部・地域未来塾、学校運営協議会担当等）

学校運営協議会委員、統括コーディネーター、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）

学校関係者（管理職および教員）、P T A役員等

【第2部】テーマ別分科会 午後2時35分から4時30分まで

A みんながワクワクするコーディネートをはじめよう！

～ウェルビーイングを高める地域コーディネーターを目指して～

定 員：120名程度

助言者：東京都地域学校協働活動推進員

「社会に開かれた教育課程」を念頭に学校教育に地域をつなぐことで実現した取組事例を元に交流し、“楽しい” “ワクワクする”コーディネートを探り、学び合います。

B コミュニティ・スクールを改めて学ぶ

定 員：55名

講 師：相田 康弘 氏（山口県下関市立長府中学校長、元文部科学省総合教育政策局地域学習推進課地域学校協働活動推進室コミュニティ・スクール推進係長。「学校運営協議会」設置の手引きである「コミュニティ・スクールのつくり方」を手がける。）

助言者：東京都地域学校協働活動推進員

コミュニティ・スクールの本質を改めて学び、地域と学校のつながりを見つめ直す実践的な学びの場です。講演・ディスカッション・グループワークを通じて、教育現場の今を知り、コミュニティ・スクールとは一体何なのかを共に考えます。

C 子供たちのウェルビーイングを支える放課後の居場所づくり

定 員：25名

助言者：東京都地域学校協働活動推進員

地域コーディネーターが、教育課程外のコーディネートを行う際に、「ウェルビーイング」の視点をどのように生かしていくべきなのか、自らの取組を振り返りながら考えます。

D 地域学校協働活動やCSが広がる今、PTAの役割について考える

～保護者と地域・学校のウェルビーイングな役割～

定 員：40名

講 師：大塚 玲子 氏（ライター。主なテーマは「PTAなど 保護者と学校の関係」と「いろんな形の家族」。取材・執筆、講演、コメンテーターなど。著書『PTAでもPTAでなくてもいいんだけど、保護者と学校がこれから何をしたらしいか考えた』ほか）

助言者：東京都地域学校協働活動推進員

子供の豊かな育ちを目指す地域学校協働活動やCSに、保護者またはPTA等保護者団体がかかわることの必要性、重要性について考えます。保護者と地域・学校のそれぞれのウェルビーイング（＝子供のウェルビーイング）を育むかかわり方を考えます。

参加申込方法

11月12日（水）までにLoGoフォームよりお申込みください。

<https://logoform.jp/f/XIc7i> (インターネット系)

<https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/f/XIc7i> (LGWAN系)

入力後、ご登録されたメールアドレス宛に、「no-reply@logoform.jp」より自動返信のメールが届きます。

「@logoform.jp」からのメールが受信できるよう設定をお願いします。

自動返信メールが届かない（迷惑メールボックスにもない）場合は、生涯学習課までご連絡ください。



インターネット系



LGWAN系

自動返信とは別に、参加決定の通知等を11月14日（金）頃に、メールでお知らせします。

※分科会は、申込フォームに第2希望までお書きください。各分科会で定員を超える場合は、抽選とさせていただきます。

当日は、講演の録画、全体の様子の写真撮影などを行い、後日動画配信や「令和7年度地域学校協働活動推進ハンドブック」等に掲載を予定しておりますので、ご了承ください。

フォーラム特設ホームページのご案内

・令和7年11月上旬公開予定

■企業・NPO等による“教育プログラム “オンライン見本市”

子供たちの教育活動に、企業、大学、NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワーク「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」による学校支援活動等で活用可能な教育プログラムを紹介します。

■地域学校協働活動関連サイト紹介

区市町村等における地域学校協働活動に関するサイトをご紹介します。

■フォーラム特設ホームページへアクセス

東京都 地域学校協働活動

検索



←フォーラム特設HPの入口・プログラム詳細はこちら
<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/shien.html>

【お問い合わせ】

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課・義務教育課

電話 03-5320-6859

Mail ml-sy-gakosien@section.metro.tokyo.jp